

# 校長室だより

平成22年(2010年)4月9日



校長 箱家 勝規

## 凡事徹底の成果

パナソニックの創業者である松下幸之助氏には、取引先の会社を訪問されたときに、帳簿で見せてもらわなくても、その会社がどれだけの利益があるかどうか、会社の経営がうまくいっているかを瞬時に見抜かれたというエピソードがあります。

その視点はきわめて簡単で、一つ目は、従業員が挨拶をするかどうかということ、二つ目は、整理整頓ができているかどうかということ、三つ目は、トイレの掃除ができていますかどうかだそうです。

挨拶を交わすことによって、確実に人と人との関係はよくなり、広がっていきましますし、整理整頓や掃除をすることにより、すがすがしい気持ちになれます。

トイレを美しくすることにより心も磨かれていきます。

このようなことができる会社の社員なら、仕事を一生懸命にしているはずだから、経営状態はいいはずだということです。

挨拶をすることや、整理整頓、トイレを美しくすることは、会社だけでなく、学校や家庭でも当たり前のことです。この当たり前のことをしている会社や学校では、そこにいる人たちが、心地よく、仕事や勉強、生活をするすることができます。



当たり前のことを続けていくことを、「凡事徹底(ぼんじてっい)」と、昨年度1年間言ってきました。そして、「挨拶をしましょう」「相手の話をよく聞きましょう」「脱いだ靴をそろえましょう」「相手に思いやりの心を持ちましょう」という当たり前のことを学校の経営の重点に据えてきました。

凡事徹底ができる学校では、生徒が何事にも頑張りやすい環境が、きっとそこにあるに違いないと思っているからです。

8日の始業式では、2、3年生にこのような話をしました。生徒は、素直にしっかり耳を傾けて聞いてくれました。

凡事徹底を続けてきたこの1年、当たり前のことが当たり前のこととして認められる学校になってきました、地域の方々から生徒に対しておほめの言葉をいただくことが多くなりました。

これからも凡事徹底の成果が見られることを楽しみにしています。